

講義名	19-日本語A(読む)/15-日本語A【留学生科目】			授業形態	
担当教員	山崎 誠	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

さまざまなスタイルの文章を通して語彙を増やしつつ、読解力を向上する。さらに多岐にわたる分野の文章を読み進め、日本語を使って幅広く知識を広げる。日本での生活及び学習に必要な読解力、理解力を育成する。

到達目標

大学生活に必要な基礎的な技能、知識を身につける。文章の読解を重ねることで、日本語の読解能力を向上させ、日本での生活に活用できるようにする。外国語である日本語の文章を読み、内容を理解することで新しい視点、論点を見出せるようになる。

提出課題

課題(作文、小テスト等)については授業中に指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

作文については添削後、自学生にフィードバックする。小テストは添削後返却し、記録をつけて学生のモチベーションにつなげる。

評価の基準

出席及び授業課題の提出(30%)
 授業への参加度、がんばり度(30%)
 課題1[中間](20%)
 課題2[学期末](20%)

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎授業開始時に出欠をとり、かつ課題、または小テストを提出することで出席とします。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とします。
- ・授業には、辞書を持って来て下さい。(スマホの辞書は取扱注意)

教科書

.使用しない。

参考図書

.まるごとマスター文法・読解。	水谷信子	Jサーチ出版	1760	9784863923959
.日本語総まとめ問題集。	佐々木仁子、松本紀子	アスク出版	1320	9784872177640

その他

授業計画

1. オリエンテーション、授業説明、日本文化に関する文章(現代)を読む
2. 日本文化に関する文章(伝統)、日本の農業に関する文章を読む
3. 科学一般、科学の限界に関する文章を読む
4. 芸術に関する文章、宇宙に関する文章を読む
5. ビジネスに関する文章、ホテルに関する文章を読む
6. 通信、携帯電話に関する文章を読む
7. 幅み、アレルギーに関する文章を読む
8. 交通ルール、映画の聖地に関する文章を読む、中間の課題
9. コミュニケーション力(導入)に関する文章を読む
10. コミュニケーション力(応用)に関する文章を読む
11. 文学作品(作者)に関する文章を読む
12. 文学作品(作風)に関する文章を読む
13. 日本の歴史に関する文章を読む
14. AI、クラウドファンディングに関する文章を読む
15. 防災訓練に関する文章を読む、期末の課題

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習:授業時に次回以降に扱う内容の資料を配布し、読書、表現など不明な箇所を事前に調べ(約2時間)
 復習:授業で扱った読書、表現を確認する。また内容に関して要約、または作文をして次回提出(約2時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

日本語能力を向上させ、日本語の資格の取得を目標に掲げ、自主・自立の精神を持った人材を育てる

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考